

事業番号	1	1	8
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	こまき応援寄附金推進事業				担当部	地域活性化営業部					
事業期間	平成25年度 ~ 令和2年度以降				担当課	商工振興課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	20	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	07 商工費	項	01	目	02	大	04	中	01

2. 実施状況

【平成30年度実施状況】

○寄付額の増加を図るため、お礼の品の魅力向上に取り組んだ。
 ・新規導入4品、休止4品、リニューアル3品を実施して、お礼の品の改廃を図った。
 ・年末年始の期間限定品として好評の「おせち」については、品揃えの拡大(6品⇒8品)、名古屋コーチン鍋をセットにしたオリジナルアイテムの導入、受付期間の延長(22日間)等を実施した。

○お礼の品をより魅力的に見せるために重要となる写真を入れ替え、更に受付サイト上に掲載しているお礼の品の詳細ページに写真や動画、文章を加えることにより情報量を増やし、寄附へ繋げるための情報発信に努めた。

○9月に市政モニターアンケートを実施し、市民が考える小牧市のお礼の品としてふさわしい品を調査した。今後のお礼の品の発掘の参考となった。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	52,958	135,291
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	52,958	135,291	118,070	149,249	
			対前年比	%	-	255.5%	87.3%	126.4%	
			(当初)予算額	千円	18,760	36,337	129,930	139,612	202,501
	人件費		正職員	人	1.3	1	1	1.05	
			正職員(平均人件費)	千円	9,732	7,486	7,486	7,860	
			その他職員	人	0	1	1	1	
			その他職員(時給×年間時間)	千円	0	774	1,407	1,487	
			計(B)	千円	9,732	8,260	8,893	9,347	
			事業費合計(C=A+B)	千円	62,690	143,551	126,963	158,596	
指標	成果指標	寄附金額(千円) (法人寄附除く)	目標	40,000	70,000	280,000	320,000	480,000	
			実績	161,286	321,378	309,290	395,709		
	活動指標	お礼の品新規登録数	目標	-	-	-	-	25	
			実績	15	6	12	4		
		メルマガ登録者数 (年度末時点)	目標	-	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	347		
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-		
		受益者あたり事業費 (b=C/a)	円	-	-	-	-		

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>○事業費のうち直接経費が31百万円増加となっている。この要因は、主に寄付者に送るお礼の品の増加によって消耗品費が29百万円増加したことである。お礼の品の魅力を高める取組みを継続して寄附額増加を図っていく。</p> <p>○成果指標の寄附金額(法人寄附除く)は、平成29年度と比較して86百万円増加しており、目標値を達成している。</p> <p>○活動指標のお礼の品新規登録数は4品となっており、新たな品の発掘が課題となっている。本年度は目標を25品として常時登録品を45品から70品とすることを目標としている。 目標達成のため、寄附を受け付けるポータルサイトを「ふるさとチョイス」1社から「楽天ふるさと納税サイト」を追加して2社体制にすること、お礼の品の募集要項を見直し、令和元年6月1日の総務省の「ふるさと納税制度の見直し」への対応と、1社1品限定を1社10品に拡大することを計画している。</p> <p>○活動指標のメルマガ登録者数については平成29年3月から実施しており、平成30年度末には347名となった。今後も継続して登録者の増加を図り、期間限定や新規登録品のお知らせを通知してリピーター確保に努める。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>【今後の見通し・課題】</p> <p>○平成30年度の寄附金額(法人寄附除く)は、平成29年度と比較して86百万円増加し、寄附件数も約3,700件増加した。市の財源確保及び市内産業の活性化を図るため、小牧の魅力を発信できるお礼の品の発掘・リニューアルや寄附の促進に繋がるポータルサイト等の活用を進め、引き続き寄附の増加を目指す。</p> <p>○令和元年6月より、ふるさと納税制度の見直しが実施され、下記の基準に適合する自治体が制度への参加対象として指定された。 ①寄付金の募集を適正に実施 ②返礼品は返礼割合3割以下で地場産品であること 上記基準への適合を調整し、制度の継続を図る。</p> <p>○ふるさと納税制度に適合したお礼の品の発掘が課題となっており、魅力ある品揃えの充実を図るため、企業訪問等を通じて積極的に市内企業への制度の周知を実施する。</p>				